

中小学校だより

February 27th, 2020 No. 11

「ふなきの会」で素敵な学びがありました

「ふなきの会」にお招きいただきまして、本当にありがとうございました。大事な子ども達は学校で育てられて成長していく姿を拝見しました。

全校児童の皆さんが一生懸命に発表された様子は、学習の成果がよく分かりました。そして、私自身を振り返るきっかけにもなり、これが生涯学習なんだと感じました。五年生の米の販売にしましても一個一個袋詰め等の作業は大変だったと思います。また、6年生はこの先誰でもお世話になるであろう車椅子の生活についても勉強され、劇をまじえて発表されました。

全校合唱「君がいたから」は「僕も頑張るから君も頑張れよ。」と発している様子と言いますか、歌っている姿勢からとても迫力を感じました。私は涙が出そうになりました。……今後ともどうぞご活躍くださいますように。「ふなきの会」本当にありがとうございました。<参観された来賓の感想より>

2月8日(土曜日)に「ふなきの会」が開催されました。各学年とも、この「ふなきの会」に向けて、限られた時間をフルに活用して準備や練習を重ねてきました。

1年生は自分達がこの1年間できるようになったことを、大きな声で発表できました。最後に歌った「ありがとう 心をこめて」が声も揃ってとても愛らしかったです。

2年生は林先生の伴奏で「春が来た」の歌をおりまぜながら、自分達ができるようになったことを発表しました。元気いっぱいな2年生の歌声が体育館中に響き渡りました。

3年生はハリヨのお世話や柿について発表しました。「パプリカ」の替え歌でハリヨについて振り付きで歌ってくれたのがとても印象的でした。

4年生はリサイクルとウサギの飼育について発表しました。3Rに関わって自分達から「皆さんにお願いがあります。」と発信していく姿に、高学年らしさを感じました。「心の旅路」の合唱も大人っぽく素敵なハーモニーでした。

5年生は米づくりについて、段ボール製の模型も使いながら、分かりやすく説明してくれました。コミカルな役割演技もあり、さすが観ている人たちを飽きさせない工夫が随所に見られる「相手意識」を感じました。今年の米販売は例年にない大盛況で、長蛇の列ができました。

そして、6年生は福祉について学んだりやってきたりしたことの集大成を発表してくれました。「中小サロン」や高齢者疑似体験で学んだことや感じたこと、自分達で企画してやってきたことを、限られた時間にぎゅっと凝縮させた素晴らしい発表でした。「福祉の勉強は多くの学校でやっているけれど、中小学校のように地域に向けて発信しているところがどんどんなくなってきている。今日の6年生の発表は本当に素晴らしかった。」と観ていた来賓の方々も大絶賛でした。

自分達が学ぶだけでなく、学んだことを発信してこそ「真の学力」となります。相手意識をもって大きな声で分かりやすく発表すること、次学年で何を学ぶかを学年の発表から学ぶこと。まさに「ふなきの会」はそれぞれの立場でいろいろな学びがある会でした。

初めて「ふなきの会」に参加した1年生は「最初はどきどきしました。私は人前では緊張しました。勇気を出して大きな声で言えました。」「私はステージに上った時、おうちの方が来ていたからちょっと緊張したけど、頑張ってやったらちゃんと出来ました。おうちの方が観てくれたので嬉しかったです。」とそれぞれに充実感をもってくれたようです。参観された皆様方、本当にありがとうございました。

さて、いよいよ3月です。それぞれの学年が次の学年に向けていろいろな締めくくりをします。卒業式は6年生だけのものではありません。自分の今の学年からの卒業式です。学校全体がフィナーレに向けて突き進んでいく3月です。

